

# 取扱説明書

## 歩行車 アクトモア フレックス

このたびは、本製品をご利用いただき、まことにありがとうございます。  
この「取扱説明書」には、本製品を安全にお使いいただくための注意事項  
や使用方法などを記載しています。

- 本製品をお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- 本製品は、改良などにより「取扱説明書」の内容と一部異なる場合もあります。
- ご不明な点がありましたら、当社までお問い合わせください。

## 1 ご使用上の注意

### 危険

【死亡または重傷を招くもの】

- エスカレーター・動く歩道・階段などでは使用しないでください。  
段差のあるところでの使用は十分注意してください。転倒のおそれがあり危険です。
- 溝や踏切の線路での落輪、カスターの挟み込みには十分注意してください。

### 警告

【死亡または重傷を招く可能性があるもの】

- 取り扱いが理解できないと思われる方が使用する際には、十分注意してください。  
取扱説明書に書かれた内容が理解できないと思われる方（幼児や認知症の方など）が使用する場合には、保護者、介護者などが必ず取扱説明書に従った使用を確保し、本人による製品の誤動作、その他、誤った使用方法による事故を未然に防いでください。
- 本製品の使用者最大体重（P6 [10仕様] 参照）を守ってください。
- 凹凸や傾斜のある路面、すべりやすい場所で使用するときは十分注意してください。  
急勾配の坂道では使用しないでください。  
転倒のおそれがあり危険です。
- 急ブレーキをかけないでください。  
バランスが崩れ不安定となり転倒するおそれがあります。
- 走行時は必ずグリップ（押し手）を握って走行してください。  
グリップ（押し手）以外の部分を持って走行すると、転倒するおそれがあります。

## ⚠ 注意

【軽傷または中程度の傷害を招く可能性があるもの】

- 分解や改造をしないでください。  
強度や耐久性が低下し、破損や転倒するおそれがあります。
- 火気に近づけないでください。  
座面のカバーが燃えたり、熱くなった金属部でやけどをするおそれがあります。
- 杖立てに杖を装着したり、外したりする場合は、必ず駐車ブレーキをかけてください。  
不安定になり、転倒のおそれがあります。
- 袖口やすその広い服装などで本製品を使用する場合は、注意してください。  
衣服がキャスターに巻き込まれるおそれがあります。
- 本製品の開閉操作を行う際には、幼児を近づけないでください。
- 本製品を開閉するときには手を挟まないように注意してください。
- 風雨の強いとき、また傘を持ちながらの片手での使用はおやめください。
- バッグの積載量(P6「10仕様」参照)を守ってください。
- バッグ以外の所に荷物をのせたり、つるしたりしないでください。

## 2 各部の名称



## 3 製品の特長

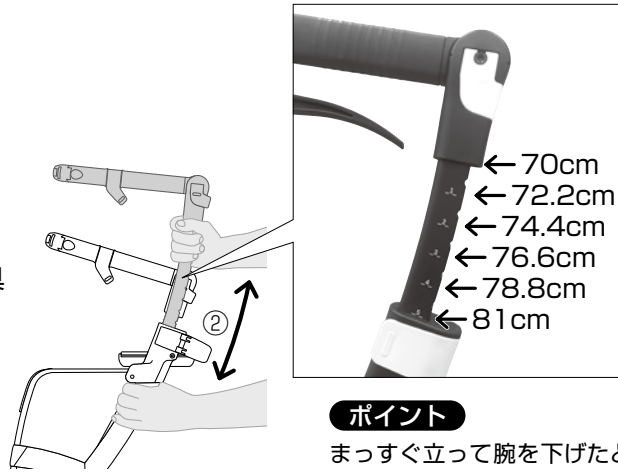
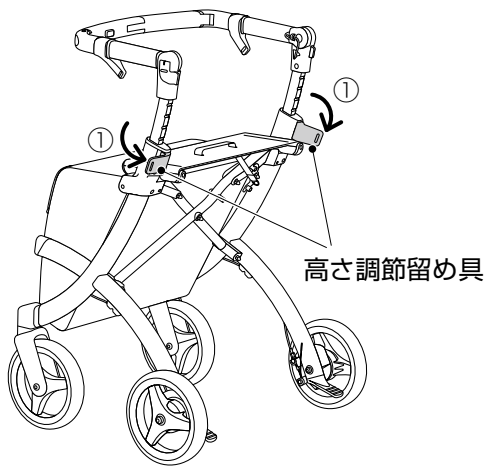
本製品は、歩行に不安のある方の歩行をサポートする歩行車です。

- お出かけしたくなるおしゃれなデザイン。
- たっぷり入る大容量のバッグ。内袋は取り外しができます。
- グリップ(押し手)の高さは体に合わせて6段階の調節ができます。
- 休憩時の腰掛けとして使える座面付きです。
- 折りたたみ式なので、保管場所を取らず持ち運びにも便利です。
- ブレーキワイヤーが外側に出ていないので、安心してお使いいただけます。
- 段差の乗り越えに便利な大きなキャスターとティッピングレバー付きです。

## 4 適合調整

### グリップ(押し手)の高さ調節のしかた

- ① 左右のグリップ(押し手)の下にある高さ調節留め具を外します。
- ② グリップ(押し手)下の左右にある目盛りをめやすに上下させ、高さを調節します(6段階)。
- ③ 高さが決まったら、左右の高さ調節留め具を“カチツ”と音がするまで戻してください。



#### ポイント

まっすぐ立って腕を下げたときの手首の位置を、グリップ(押し手)の高さの基準にします。

#### △注意

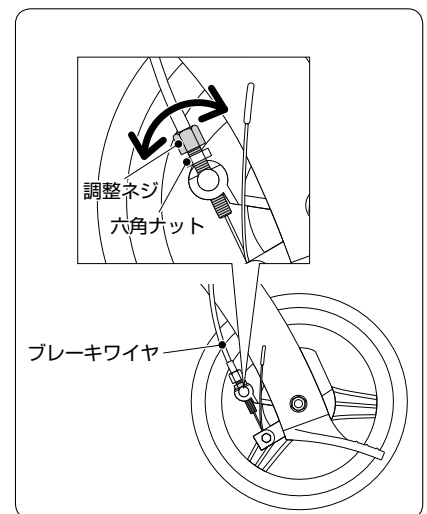
高さ調節を行った際は、左右同じ高さであることを確認してください。  
また、高さ調節留め具のロックが不十分だと、使用中にグリップ(押し手)が急に下がり、転倒するおそれがあります。

### ブレーキ調整のしかた

- ① ブレーキが掛かっていないことを確認してください。
- ② 後輪キャスト上方にあるブレーキワイヤを留めている六角ナットをゆるめます。
- ③ 調整ネジを回してブレーキを調整してください。  
時計回り(ゆるむ方向)に回すと、利きがゆるくなります。  
逆に、反時計回り(締まる方向)に回すと、利きがよくなります。
- ④ 調整後、六角ナットを確実に締めます。

#### △危険

ブレーキ調整部は左右2ヶ所あります。左右のブレーキが同じように利くように調整してください。左右のブレーキの利き方が違うとバランスを崩すおそれがあり危険です。



## 5 ご使用前の準備と点検

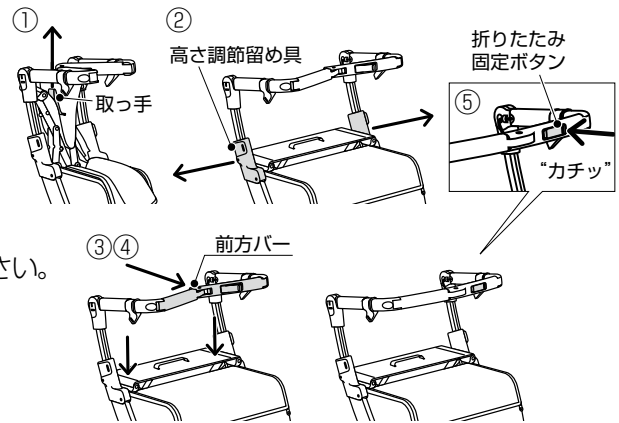
### ご使用前に以下の点を確認してください。

- ブレーキレバーを握り、ブレーキが利くこと。
- 駐車ブレーキがキャストを固定すること。  
調整ネジを締めても利きが悪いときは、当社にご連絡ください。
- キャスターのネジがゆるんでいないこと。

# 6 ご使用方法

## 1. 開きかた

- ① 座面の取っ手を上に引き上げて、折りたたみロックを解除します。
- ② 高さ調節留め具付近をつかみフレームを左右に広げて開きます。
- ③ 座面の左右にあるパイプを“カチッ”と音がするまで押し込みロックを掛けます。
- ④ 前方バーを押し込みます。  
このとき前方バーの中央部は触れないように注意してください。  
※赤いシールが見えなくなるまで押し込んでください
- ⑤ 折りたたみ固定ボタンを矢印の方向に“カチッ”と音がするまで押して前方バーを固定します。



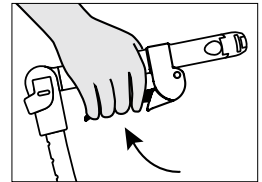
### △ 注意

操作を行うとき、手や足などを挟むおそれがあります。

## 2. 走行時のブレーキの掛けかた

自転車のブレーキを使う要領で、グリップ(押し手)とブレーキレバーを同時に握ると、ブレーキが掛かります。ブレーキレバーから手を離すとブレーキは解除されます。

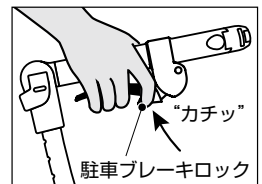
△ 警告 ブレーキを掛けるときは、ゆっくりとブレーキレバーを握ってください。



## 3. 駐車時のブレーキの掛けかた

- ブレーキレバーを握りながら、左右の駐車ブレーキロックを“カチッ”と音がするまで引き上げます。
- 解除するには、ブレーキレバーを強く握ります。

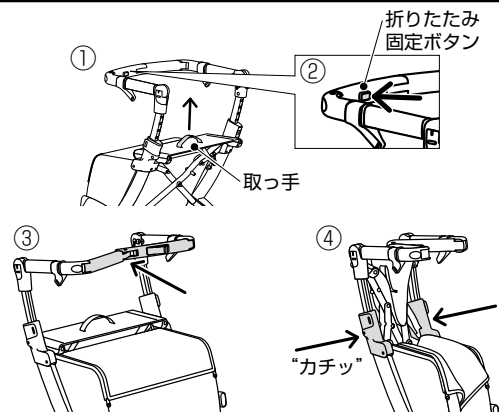
△ 危険 座面に腰掛けるときは、必ず駐車ブレーキを掛けてください。



## 4. 折りたたみかた

バッグの中に荷物があれば取り出してください。  
(P5 [7.バッグの使いかた] 参照)

- ① 座面の取っ手を上に引き上げます。
- ② 前方バーの折りたたみ固定ボタンを押してロックを解除します。
- ③ 前方バーを握り手前に引きます。このときバーの中央部は触れないように注意してください。
- ④ 高さ調節留め具付近を左右から押します。“カチッ”と音がするまで押し込むと折りたたみが固定されます。

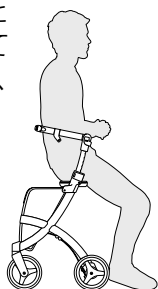


### △ 注意

- 操作を行うとき、手や足などを挟むおそれがあります。
- 折りたたんだ状態では倒れやすくなるため、壊れやすい物のそばに置かないでください。
- グリップ(押し手)の高さを目盛4(78.8cm)に合わせたときは、折りたたみ時に固定されません。

## 5. 腰を掛ける場合

歩行の途中で疲れたときは、3.の手順に従ってブレーキを掛けてから、座面に座ってください。

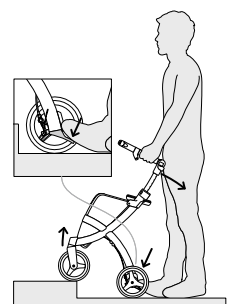


## 6. ティッピングレバーの使いかた

後輪キャスターの内側にあるティッピングレバーを踏み、前輪キャスターを上げます。テコの原理で前輪キャスターが容易に上がるので、段差の乗り越えに便利です。

### △ 危険

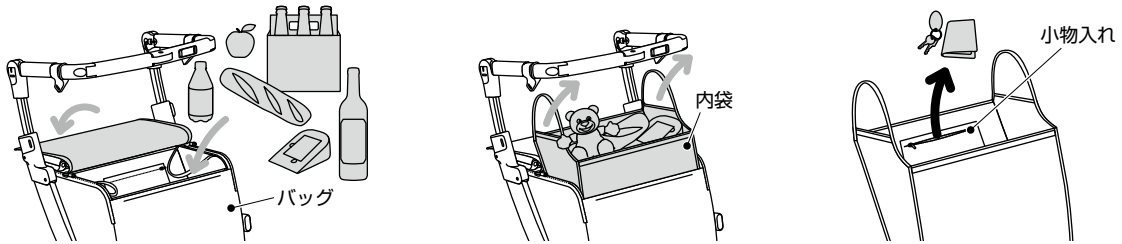
ティッピングレバーを勢いよく踏むと手前に倒れるおそれがあります。また、カゴに荷物を入れた状態で段差を乗り越える際はバランスを崩すおそれがあります。必ずグリップ(押し手)を両手でしっかり握り操作してください。



## 7. バッグの使いかた

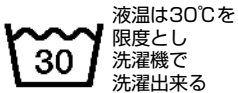
- バッグのファスナーを開けてカバーを開き荷物を入れます。
- 荷物を取り出すときは、バッグの中にある内袋の取っ手を持ち上げると持ち運びに便利です。  
内袋の内ポケットにはファスナー付きの小物入れも付いています。

△注意 バッグの積載量(P6「10仕様」参照)を守ってください。



## 7 お手入れの方法

- 使用前には必ず下記の事項を点検・整備し、常に安全な状態でお使いください。
- ① キャスター、ブレーキなどのゆるみを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
- ② ブレーキの利き具合が悪いときは、後輪キャスター上部のブレーキワイヤを調整してください。  
それでも直らないときには、当社にご連絡ください。
- キャスターや車体がきしむ場合、当社にご連絡ください。
- 本体フレームまたは座面シートやバッグが汚れたときは、水を含ませた布でふき、汚れを取り除いてください。  
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布でふき取ってください。  
また、内袋は洗うことができます。下記の表記に従ってください。



液温は30℃を  
限度とし  
洗濯機で  
洗濯出来る



塩素系及び  
酸素系  
漂白剤の  
使用禁止



110℃を限度  
としてスチーム  
なしでアイロン  
仕上げができる



ドライ  
クリーニング  
禁止



タンブル  
乾燥禁止

## 8 保管場所

次のような場所には、保管しないでください。故障の原因となります。

- 雨が当たる場所
- 炎天下、直射日光が当たる場所
- 湿気の多い場所
- 高温になる場所

## 9 故障かな?と思ったら

故障でない場合もありますので、修理を依頼される前にもう一度以下の項目をチェックしてください。

症状	考えられる原因	処置
グリップ(押し手)がグラグラと動く	グリップ(押し手)高さの調節留め具が確実に固定されていない	グリップ(押し手)高さの調節留め具が、確実ににはまっているか確認してください
走行時のブレーキが利かない	キャスターの磨耗、または破損	キャスターの交換が必要です。当社にご連絡ください
	ブレーキがゆるく調整されている	ブレーキ調整(P3)を行ってください
駐車時のブレーキが利かない	ブレーキ金具のねじれ、曲がり	当社にご連絡ください
	バネの劣化	バネの交換が必要です。当社にご連絡ください
	連結部分のさび	当社にご連絡ください
キャスターが重い	キャスターに髪の毛、ビニールなどが巻きついている	キャスターを手で回転させて、取り除いてください
	駐車ブレーキがかかっている	駐車ブレーキを解除してください
	バネの劣化	バネの交換が必要です。当社にご連絡ください

※チェックを行っても正常に使用できない場合、または破損や異常を発見した場合はすぐに使用を中止して、当社にご連絡ください

# 10仕様

製品名	アクトモア フレックス
適応身長めやす	140~160cm
本体外形寸法 (全幅×奥行×全高)	62×60×75~84cm
座面寸法(幅×奥行)	43.5×10.5cm
座面高	52cm
折りたたみ時寸法	幅33cm(自立可)
グリップ(押し手)高	70~81cm(6段階調節)
重 量	約6.8kg
使用者最大体重 (積載物含む)	125kg
バッグ積載量	20kg
前輪キャスター径	8インチ(自在)
後輪キャスター径	8インチ(固定)
キャスター仕様	前輪:360度回転 後輪:固定(直進)
材 質	フレーム:アルミ バッグ:ナイロン(防水加工) 内袋:ポリ塩化ビニル

■製品の仕様は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

## 株式会社フロンティア

フクシのクトハ

フリー  
コール **0120-294-518**

千葉本社 福祉本部 〒261-0002  
千葉県千葉市美浜区新港 42-4  
TEL.043-301-8338



### ●アフターサービスのお問い合わせ

取扱店